住友生命 Vitality NEWS RELEASE

2026年11月2日
住友生命保険相互会社

東京都民の行動変容事業「東京グリーンビズウォーク」参加者38,000名を突破！

～Vitalityウォーク累計参加者数は全国で140,000名を突破～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、「ワイドコラボ協定」を締結している東京都（東京都知事 小池 百合子）と連携し、東京グリーンビズの理念に賛同する「東京グリーンビズコラボレーションパートナー」として、都民の健康づくりに向けた行動変容を促すとともに、東京の緑の魅力を体感いただくため、Vitality健康プログラムの一部を活用した事業「東京グリーンビズウォーク」※1（以下「本事業」）を開催しています。

本事業は、東京都が推進する100年先を見据えた緑のプロジェクト「東京グリーンビズ」と連携し、都民の皆さまに都内の緑豊かなスポットを巡るウォーキングに取り組んでいただくことで、健康づくりと緑の魅力の体感を同時に促進するものです。2026年10月19日から10月25日までの申込期間中に、多くの都民の皆さまにお申込みいただき、参加者数が38,000名を突破しました（10月26日時点）。

※1 東京グリーンビズウォークのニュースリリースは以下のURLをご参照ください。
https://www.sumitomolife.co.jp/news/detail/newsrelease_261019.html

「住友生命グループVision2030」では、2030年のありたい姿として「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」を掲げています。地方創生プロジェクト等を通じて、充実したくらしを支え、地域に根差したウェルビーイングサービスを提供し、人生のウェルビーイングを支えるインフラ企業を目指していきます。

＜本事業の概要＞

・公募した参加者にVitality健康プログラムの一部であるアクティブチャレンジに約２か月間取り組んでいただきます。
・アクティブチャレンジとは、１週間のサイクルで設定される運動ポイント目標を達成することで、コーヒーやドリンク等の各種商品チケットを獲得できる短期プログラムです。参加者が短期的な目標の達成を繰り返す中で、運動習慣を身につけ、健康増進につなげていくものです。

■アクティブチャレンジの概要



【地方自治体との Vitality を活用した連携事業一覧】

地方自治体との Vitality を活用した連携事業の一覧、２年目以降の継続事業については、下記 URL をご参照ください。

https://www.sumitomolife.co.jp/news/walk/241101a.pdf

東京グリーンビズウォークを含む自治体との連携事業「Vitality ウォーク」は、2023 年度から全国の各自治体と連携して本格的に展開してきました。このたび、先行実施分を含む累計参加者数が、延べ 140,000 名※2を突破しました。多くの地域住民の皆さまにご参加いただき、運動習慣の定着と健康増進に向けた取組みとして全国に広がっています。

※２ 2022 年度以前の先行実施を含め、全国 132 自治体と Vitality 健康プログラムを活用した連携事業を実施。
大阪府との共同事業「大阪 Vitality チャレンジ」の参加者は含まず。

【ご挨拶】

このたび、「東京グリーンビズウォーク」の参加者数が 38,000 名を突破しました。

ご参加いただいた都民の皆さま、ならびに本事業の推進にあたり多大なるご協力を賜りました東京都のグリーンビズ事業のご担当者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

本事業は、東京の豊かな緑の魅力を体感いただく機会の創出と歩くことによる健康づくりを目的として実施しております。多くの皆さまにご参加いただき、東京グリーンビズの理念に触れていただくとともに、日々の健康づくりのきっかけとしてご活用いただけることを大変嬉しく思います。

また、全国の自治体との連携事業「Vitality ウォーク」の累計参加者数が 140,000 名を突破いたしました。全国各地の Vitality ウォーク参加者の皆さまから、「健康づくりのきっかけになった」「歩くことを意識するようになった」といった嬉しい声を数多く頂戴しており、本事業が参加者の皆さまの健康づくりに対する行動変容につながっていることを実感しています。ご参加いただいた全国各地の多くの皆さま、周知等で多大なご協力を賜りました全国の自治体の皆さまに心より感謝申し上げます。

引き続き、Vitality ウォークの輪を拡げることで、地域住民の皆さまのサステナブルなウェルビーイングの向上と、地方創生や地域活性化に貢献してまいります。

自治体連携シニア・コーディネートオフィサー　高崎 晃子

以上